

TABLE FOR TWO

これまで給食
1億1,588万5,402食分
のご寄付が集まりました!



医学部へ通うリリアーネさん

学びを支える給食が、未来への一歩に

TFTはルワンダのバンダ村で2010年に幼稚園での給食支援を開始し、その後は小学校でも給食を提供してきました。給食が始まった年に幼稚園に入園したリリアーネさん(20歳)は、現在、首都キガリの大学で医学部に通っています。6年半の課程を修めて医師になり、将来は婦人科の専門医になることを目指しています。

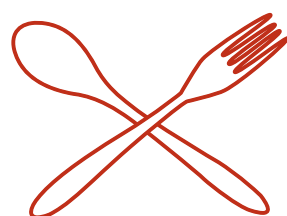
電気やガス、水道のない村で生まれ育った子どもが医者を目指すのは容易ではありません。「給食をはじめとした周囲からの支援のおかげで、未来に夢を抱く勇気を持つことができました。皆様のご支援は、村での日常に確かな変化をもたらしています。私自身だけでなく、周りの人々の人生を支える力にもなっています」と語ってくれました。

あの子の テーブル



リリアーネさんは幼稚園児のころ、発育があまり良くありませんでした。そのため、通常のお粥の給食に加え、卵や野菜を多く使った特別食提供の対象でした。家で朝ごはんを食べられない日もあり、給食は元気の源だったと話しています。

東アフリカ
ルワンダ



日本
神奈川

世界を繋ぐ ひとつの テーブル

わたしの一食が、
あの子の一食になる。

わたしの テーブル



アマノでは本社・相模原事業所・細江事業所の3拠点でTFTメニューを展開しています。本社では毎月「TABLE FOR TWO週間」を設け、ヘルシーメニューを寄付対象として積極的に推進。さらに2024年からは「おにぎりアクション」にも協賛し、食堂でのおにぎり提供を通して、社員が社会貢献に参加する機会と熱量を大きく広げています。



小学校卒業時の国家試験で優秀な成績を収め、村から離れた寄宿制の中学校に進学しました。両親は学費や生活費の工面に苦勞したといいます。中学校でも成績上位を維持し、次第に医師を志すようになりました。

特集ページでは、より詳細な内容をご紹介します



Rwanda

Japan

TABLE FOR TWO は開発途上国の飢餓と先進国の肥満や生活習慣病の解消に同時に取り組む、日本発の社会貢献運動です。

©TABLE FOR TWO International



食事を通じて気軽に社会貢献に参加しながら、従業員の健康づくりも応援したいという思いから、取り組みが始まりました。社員からは「食事ひとつで健康にも社会にも配慮できることが素晴らしい」との声が寄せられており、日々の食堂利用が寄付という形で想いを届けるきっかけになっています。